

7 経営改善計画期間中の具体的改善策と実施時期等

項目	課題	実施期間	具体的な改善策
販路拡大	①飲食部門において、新規業態の店舗へ変更し販売強化とテイクアウトの強化を図る。 ②清掃部門において、新規顧客や定期清掃などの受注強化を行う	令和4年度全期間	①飲食部門：企業などに広報活動を行うことにより安定した来客を促進し営業強化を図る。またSNSやチラシなどのツール活用し広報活動を引き続き行っていく。店舗においては定食屋からうどん屋業態に変更し、リーズナブルで回転率の高い運営を行い近隣のサラリーマンなどのニーズに応えられる店舗にする。また、合わせてテイクアウト商品を強化し、外的要因を受けやすいインフード以外の部分での販売促進を行う。 ノウフク連携で生産した旬の食材を加工し、店頭にて販売。それを用いて各種イベントにも積極的に出店し、販売及び広報活動を強化していく。 ②清掃部門：令和4年4月より専門の職員を配置。既存の各部署が行っている清掃事業を集約をし、技術向上、生産性の向上を図る。(B型事業所は食材加工に焦点をあてる為、B型事業所で行っていた清掃もA型へ移動を行う。) 又、新規企業への営業を行い受注を増やし安定した売上確保に努めるとともに、デジタルツールなどで情報発信を行い受注向上に努める。
経費削減	配食事業に於ける食材ロスの減少と効率的な食材仕入れによる原価率低減を達成し、物価高騰への対策を行い、収益性の改善を行う。	令和4年度全期間	物価高騰によるメニュー内容の見直しを図るとともに、同法人B型事業所と連携を図り冷凍機を利用した食材冷凍保存管理等によるロス率低減・食材仕入れの経費削減を図る。
連携強化	施設外就労受託事業に係る委託事業者との連携強化を図るとともに新たな新規委託企業の開拓を行う。	令和4年度全期間	委託の継続や新規開拓などの観点から、外部の飲食や清掃、SNSなどの情報発信についての見識がある者にアドバイザー・コンサルとして携わって頂き、自社努力のみならず地域企業と連携を図り、売上向上、発信力向上に繋げる。 アドバイザー：株式会社 Sun Next 外林明光氏

(注) 経営改善を行う項目(例：営業体制の強化、経費削減、販路拡大等)を記載するとともに、課題を記載し、その課題に対応するための実施期間と具体的な改善策をそれぞれ記載する。適宜欄は追加する。

(計画期間中の見込額)

令和4年年		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
収益	就労支援事業収益	¥2,959,997	¥2,068,738	¥2,010,590	¥1,757,397	¥2,401,363	¥2,220,045	¥2,612,657	¥3,635,457	¥2,660,697	¥2,773,978	¥2,752,634	¥3,279,778	¥31,133,331
	就労支援事業活動収益計	¥2,959,997	¥2,068,738	¥2,010,590	¥1,757,397	¥2,401,363	¥2,220,045	¥2,612,657	¥3,635,457	¥2,660,697	¥2,773,978	¥2,752,634	¥3,279,778	¥31,133,331
費用	就労支援事業販売原価	¥2,745,039	¥2,817,769	¥2,541,385	¥2,342,410	¥2,450,363	¥2,328,181	¥2,537,040	¥2,498,880	¥2,664,736	¥2,719,418	¥2,440,240	¥2,905,506	¥30,990,966
	期首製品(商品)棚卸高	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
	当期就労支援事業利用者支払い買金	¥2,256,115	¥2,445,351	¥2,192,125	¥2,167,216	¥2,200,492	¥2,009,611	¥2,357,040	¥2,254,560	¥2,357,040	¥2,357,040	¥2,049,600	¥2,435,608	¥27,081,798
	当期就労支援事業仕入高	¥488,924	¥372,418	¥349,260	¥175,194	¥249,871	¥318,570	¥180,000	¥244,320	¥307,696	¥362,378	¥390,640	¥469,898	¥3,909,168
	期末製品(商品)棚卸高	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
	就労支援事業販管費	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
	就労支援事業活動費用計	¥2,745,039	¥2,817,769	¥2,541,385	¥2,342,410	¥2,450,363	¥2,328,181	¥2,537,040	¥2,498,880	¥2,664,736	¥2,719,418	¥2,440,240	¥2,905,506	¥30,990,966
	就労支援事業活動増減差額	¥214,958	(¥749,031)	(¥530,795)	(¥585,013)	(¥49,000)	(¥108,136)	¥75,617	¥1,136,577	(¥4,039)	¥54,560	¥312,394	¥374,272	¥142,365
支払い買金総額	¥2,256,115	¥2,445,351	¥2,192,125	¥2,167,216	¥2,200,492	¥2,009,611	¥2,357,040	¥2,254,560	¥2,357,040	¥2,357,040	¥2,049,600	¥2,435,608	¥27,081,798	

(前年度実績)

令和3年		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
収益	就労支援事業収益	¥482,475	¥267,560	¥323,407	¥233,450	¥406,881	¥460,700	¥501,550	¥643,800	¥585,893	¥766,802	¥576,100	¥734,588	¥5,983,206
	就労支援事業活動収益計	¥482,475	¥267,560	¥323,407	¥233,450	¥406,881	¥460,700	¥501,550	¥643,800	¥585,893	¥766,802	¥576,100	¥734,588	¥5,983,206
費用	就労支援事業販売原価	¥2,516,601	¥2,671,771	¥2,064,606	¥2,058,149	¥1,951,939	¥2,102,488	¥2,455,821	¥2,567,606	¥2,715,283	¥2,787,044	¥2,570,799	¥3,190,926	¥29,653,033
	期首製品(商品)棚卸高	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
	当期就労支援事業利用者支払い買金	¥1,932,275	¥2,038,108	¥1,847,460	¥1,896,554	¥1,826,293	¥1,884,606	¥2,152,964	¥2,284,386	¥2,481,613	¥2,432,505	¥2,239,314	¥2,624,562	¥25,640,640
	当期就労支援事業仕入高	¥584,326	¥633,663	¥217,146	¥161,595	¥125,646	¥217,882	¥302,857	¥283,220	¥233,670	¥354,539	¥331,485	¥621,629	¥4,067,658
	期末製品(商品)棚卸高	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥115,959	¥115,959
	就労支援事業販管費	¥49,014	¥63,390	¥71,195	¥57,315	¥59,121	¥59,684	¥63,150	¥67,976	¥56,722	¥72,508	¥50,147	¥55,211	¥725,433
	就労支援事業活動費用計	¥2,565,615	¥2,735,161	¥2,135,801	¥2,115,464	¥2,011,060	¥2,162,172	¥2,518,971	¥2,635,582	¥2,772,005	¥2,859,552	¥2,620,946	¥3,246,137	¥30,378,466
	就労支援事業活動増減差額	(¥2,083,140)	(¥2,467,601)	(¥1,812,394)	(¥1,882,014)	(¥1,604,179)	(¥1,701,472)	(¥2,017,421)	(¥1,991,782)	(¥2,186,112)	(¥2,092,750)	(¥2,044,846)	(¥2,511,549)	(¥24,395,260)
支払い買金総額	¥1,729,802	¥1,840,302	¥1,725,406	¥1,736,531	¥1,690,144	¥1,766,067	¥2,023,128	¥2,107,400	¥2,281,583	¥2,251,522	¥2,039,366	¥2,347,699	¥23,538,950	

事業所代表者署名欄 山中 裕二 印